

平成21年7月23日

高松市長 大 西 秀 人 殿

高松市牟礼地区地域審議会

会 長 濱 川 憲 博



合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に
関する意見の取りまとめについて（回答）

本地域審議会は、平成21年5月15日付け高地政第73号で依頼のありました合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について、慎重に審議を進め、取りまとめましたので、別紙のとおり回答いたします。

意見集約に至るまでの審議の過程において、建設的かつ具体的な数々の意見、提案がありました。

つきましては、第2期（平成22年度から平成24年度）「まちづくり戦略計画」の策定に当たり、これらの意見の反映について、格段の御配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

合併基本計画に係る平成２２年度から
２４年度までの実施事業に関する意見

平成２１年７月

高松市牟礼地区地域審議会

合併基本計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見について

地区名：牟礼地区

番 号	項 目	意 見 の 内 容
1	効果的な介護予防事業の推進	高齢化社会を迎え、これからは介護予防のための取組が重要である。このため、地域包括支援センター、保健センターが連携を図り、地域住民に参加を促す体制を強化されたい。 現在、地域包括支援センターで、特定高齢者介護予防教室が週1回、保健センターでは、一般高齢者介護予防教室が月1回、その他、講演会、セミナー、講座等が開催されているが、どうも地域住民には、あまり伝わっていない。 様々なプログラムづくりや、地域住民が積極的に参加できるよう、情報提供の充実はもちろんのこと、もっと積極的に地域に出て行き、効果的な介護予防事業の推進をされたい。
2	高齢者、障がい者の地域生活支援の充実	高齢者も障がい者も、自分が生まれ育った地域で暮らしたいと思っている人は多い。しかしながら、地域において、自立した生活を送るには、大変厳しい状況である。 今後、在宅福祉サービスの充実を図っていく上からも、医療系サービスとの連携や情報提供体制等の強化を図るとともに、地域で支え合う体制の構築と、その人本位の在宅支援プランによる継続的な支援の充実を図られたい。 また、市民への情報提供として、各地域で実践を重ねてきたサービス事業者の実践報告会等、もっと地域の住民に情報発信する場の提供もされたい。
3	小規模多機能、共生ケアの取組に対する支援	これまでの福祉は、高齢者は高齢者だけ、障がい者は障がい者だけ、そして子どもは子どもだけと行政の縦割りによって分けられてきた。しかし、現在、住宅地の中にある民家を改造した小規模で家庭的な施設で、赤ちゃんからお年寄りまで障がいの有無にかかわらず受け入れるサービスが全国に広がっている。 このような小規模多機能で共生型施設の整備や取組に対する支援を行われたい。
4	ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化	環境に負荷の少ない循環型社会の構築のため、レジ袋削減推進事業や地球にやさしいオフィス・店登録制度など、ごみの減量化・再利用・再資源化への取組の強化を図るとともに、市民の環境保全への理解と取組の意欲を高めるため、啓発事業や環境教育・学習などの充実を図られたい。
5	公園への健康遊具の設置	牟礼地区内の街区公園や近隣公園、また、いわゆる自治会公園などに、子ども向けの遊具が数多く設置されているが、少子高齢化時代の今日、子ども向けの遊具とともに、遊ぶのではなく、体を伸ばしたり、筋力をつけたりする健康維持を目的とした高齢者向けの健康遊具の設置もされたい。

番 号	項 目	意 見 の 内 容
6	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	牟礼地区では、合併を機に、いち早く総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、早や3年が経過したが、4年目の今年、行政による事務局員はいなくなり、現在では、行政指導の下、「むれスポーツクラブ」が独自に事務局員を雇用し、賃金を会費の中から捻出している状況である。 このようなことでは、これから総合型地域スポーツクラブを各地域で立ち上げようとする際、現在、活動している地区体協や市体協より、運営面や資金面で不自由、不便等を感じ、流れに逆行するものである。 香川県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が設立され、いよいよ香川県としても全国につながるネットワークが強化されてきた。 高松市も県都としてのリーダー的見地に立ち、スポーツの振興と普及、健康増進の担い手となる総合型地域スポーツクラブの立ち上げと育成に関し、もっと積極的な支援をされたい。
7	牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点の改良	牟礼町大町川東地区の八栗新道交差点は、国道11号を挟んで、両側にJR高徳線、琴電志度線が平行に走っており、この交差点の北側は、県道八栗原線、市道川東北部線が琴電八栗新道踏切で連結し、南側は、市道宮の前川原線がJR高徳線八栗新道踏切で連結されるという複雑な構造となっている。また、国道11号は、片側1車線で右折レーンも無い。 このような道路構造が、交通渋滞や交通事故を引き起こす原因の一つと考えられる。最近、死亡事故が発生した場所でもあるので、早急に関係機関と連携し、交差点改良について検討されたい。
8	新コミュニティセンターの建設に伴う、今後の牟礼公民館の活用についての検討	新コミュニティセンターが現牟礼支所地内に建設されることと、大町公民館がコミュニティセンターへ移行されることに伴い、今後、牟礼公民館をどのような形で活用していく考えなのか。 牟礼公民館は、図書館やホールを併設した大規模な施設であり、牟礼地区住民にとっては、地域活性化やまちづくりのシンボリック拠点であるので、平成24年度以後の牟礼公民館の活用については、広く牟礼地区住民の意見を聞いた上での検討を行われたい。 また、牟礼公民館は、耐震化や施設改修の計画もあると聞いているが、平成24年度以後の牟礼公民館の活用について、十分検討した上で、耐震化や施設改修を行われたい。